

笠間市社会福祉協議会大旭支部
発行 大旭支部長 小野 武
編集 大旭支部広報委員会
発行日 令和元年8月31日
印刷 有限会社大塩企画

おおあさひ支部報

旭台子ども会が表彰

地域の特徴を生かして

令和元年度、子ども会育成
会代表者と大旭支部との懇談
会が、6月30日、笠間市社会
福祉会館に支部内7つの子ど
も会々長、支部役員、区長と
民生・児童委員、友部第二小
学校の矢口裕治校長先生、市
子ども会役員など約50人が参
加して開かれました。

小野武支部長が「年々子ど
もの数が減少しており、いろ
いろな問題を支部としても
共有しながら、ボランティア
として、コミュニケーション
が図られるよう、また、地域
とのかかわりかたなど、支部
運営に努めていきたい」とあ
いさつをされました。

まず、各子ども会代表者か
ら会の行事や現状が報告され
たが、高学年になると子ども
会を抜ける子があり、子ども
会の存続が深刻ようになって
きている。毎年、子ども会
として同じような行事の繰り
返しのようだが、レクリエー

ションや稲刈りなど、地域の
特色も見受けられた。

令和元年に、旭台子ども会
育成会（小幡千恵会長）が、
平成30年度優良子ども会を受



子ども会育成会代表者との懇談会
右は表彰の報告をする小幡千恵会長



賞、うれしいニュースも報告
された。小幡会長は「長年の
子ども会活動が評価され、県
庁で表彰式が行われました。
40年以上の歴史がある子ども
会も会員の減少などもありま
すが、子どもたちが安全にた
のしめ、地域の方々と交流で
きる行事などを増やしていき

たいと思っています」とお礼
の言葉を述べました。

また、参加者からは活発な
意見や質問が出され、課題と
しては、子ども会の活動では
なく、地域の人たちとのコ
ミュニケーションを図りつ
つ、子ども会の楽しさや、集
団生活の楽しさなどを示し、
子どもたちのいきいきとして
いる姿を見せていくのも方法
かもしれませんとアドバイス
し、子ども会代表者を励まし
られました。

矢口校長先生が「貴重な意
見が多く出されましたが、学
校として、教育の場として何
ができるか、地域の皆さんが
たと意見を交換しながら、な
にをすべきなのか、参考にさ
せていただき、子どもたちの
教育、集団生活に取り組んで
まいりたいと思います」と感
想を述べ、狩谷博道副支部長
が「支部としてボランティア
など、どう協力できるのか支
部運営に取り組んでまいりま
す」として懇談会を締めくく
りました。

令和元年度支部代議員会

令和元年5月11日、笠間市地域福祉センターともべにおいて、令和元年度代議員会が開催されました。

小野武支部長の主催者あいさつに続き、笠間市社会福祉協議会から3人の出席者を代表して、藤枝泰文事務局長から来賓のあいさつをいただき議事に入りました。

最初に、平成30年度事業報告・収支決算報告があり、原案どおり承認されました。次に、令和元年度事業計画・収支予算が提案され、活発な質疑応答が交わされたのちに原案どおり議決されました。

なお審議経過の概要は、次の通りです。

平成30年度事業報告および収支決算報告について

1、事業報告について

配食サービス・ふれあいサロンなごみ、子ども会育成会・高齢者クラブ・三世代交流会への支援等々、数多くの事業を実施して来しました。

なかでも、配食サービス・ふれあいサロンなごみ・学校安全ボランティアの下校時見守りは「高齢者や児童の、安心・安全を守る地域活動」として、関係者から感謝を得ています。

2、収支決算報告について
別記収支決算書の通りです。

令和元年度笠間市社協大旭支部 役員名簿

支部役員	役 職	氏 名
	支 部 長	小野 武
	副 支 部 長	川澄真二郎 狩谷 博道 渡辺 米子
	会 計	納 米次
	監 事	菅原 毅 井川小夜子
	支部委員代表	鯉渕 勲 (矢野下藤株) 後藤 政見 (大沢上2) 米納 信治 (大沢下2) 塩田 正志 (八幡台1) 永原 勝美 (旭平1) 青木 清 (旭台団地4)
	部門委員代表	後藤 政見 菊池美智子 鈴木 勝義 青木 清 菊池 三男 田中 敬一 渡辺 米子 伊藤由美子 吉田 正次 調 朝幸

支部委員 (区長)	鯉渕 勲 (矢野下藤株)	横田 正男 (アジズター旭台)
	木村 孝 (矢野下郷)	湯本久美子 (旭台団地1)
	谷島 由尚 (大沢上1)	増渕 隆 (旭台団地2)
	後藤 政見 (大沢上2)	内田 貞明 (旭台団地3)
	大村 泰弘 (大沢上3)	青木 清 (旭台団地4)
	相澤 博美 (大沢下1)	永原 勝美 (旭平1)
	米納 信治 (大沢下2)	金子 友美 (旭平2)
	塩田 正志 (八幡台1)	高橋 済 (旭平団地)
	藤田 忠靖 (八幡台2)	藤井 利治 (緑ヶ丘団地)
	佐藤 秀明 (原団地)	高間 香 (旭崎1)
	内田 洋一 (清住町)	中野庄一郎 (旭崎2)
	加藤 勝男 (若狭山団地)	石井 秀司 (サンステージ区)
	八巻 信男 (旭台)	鈴木 健文 (矢野下本郷)

令和元年度事業計画・役員改選および収支予算について

活動方針として『ふれあい・たすけ合い・思いやり』を掲げて、地域に密着した活動を展開します。

①事業計画の主なもの

○女性部（にじの会）の活動

配食を通じた見守り・ふれあいサロンなごみ・ふれあい食事会の活動による高齢者の支援。

○児童の健全育成活動

下校時見守り活動、三世代ふれあいのつどい、子ども会育成会との懇談会等による、児童の育成支援。

○高齢者、在宅介護者に対する活動

グラウンドゴルフ大会実施による健康維持増進の支援。

在宅介護者とのふれあいサロンの開催による介護者への支援。

○広報活動の推進

広報誌「おおあさひ」の発行。

新任広報委員、寺門常康氏の紹介。

○役員改選について

新任の行政区長を支部委員に加えた新体制は、別紙名簿の通りです。

②収支予算編成とお礼について

経費削減で繰越金が確保され、前年同様の予算を編成できました。支部の財政は、地域の皆様方の会費により運営されています。会員の皆様方のご理解とご協力に、あらためて感謝申し上げます。

平成30年度 決算報告

収入の部

自：平成30年4月1日
至：平成31年3月31日

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	予算比	付 記
繰 越 金	586,454	586,454	0	
会 員 会 費 還 元 金	1,000,000	966,500	△ 33,500	社会福祉協議会
福 祉 コ ミ ュ ニ テ イ	50,000	50,000	0	社会福祉協議会
広 報 助 成 金	100,000	96,650	△ 3,350	社会福祉協議会
寄 付 金	5,000	0	△ 5,000	
雑 収 入	5,000	5,006	6	グラウンドゴルフ祝金・預金利息
合 計	1,746,454	1,704,610	△ 41,844	

支出の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	予算比	付 記
会 議 費	30,000	21,023	△ 8,977	総会、役員会経費
総 務 費	30,000	30,000	0	役員活動費
通 信 費	15,000	15,000	0	書類作成、諸事業の案内・連絡助成等
消 耗 品 費	10,000	1,196	△ 8,804	事務用品（コピー用紙他）
事 業 費	1,000,000	771,739	△ 228,261	
（事業費内訳）				
児 童 育 成 費	150,000	76,406	△ 73,594	子供会助成 7団体：62,400 太陽・旭台・旭台団地 旭崎・旭平・青空・矢野下 育成会（昼食代）：14,006
高 齢 者 ク ラ ブ 助 成	80,000	80,000	0	8団体：80,000円／団体 寿会・若狭山・ときわ会・三友会・ 新生会・ふれあい・睦会・ひので会
グラウンドゴルフ大会	40,000	32,245	△ 7,755	参加費・賞品代：20,420 昼 食 代：11,825
に じ の 会 活 動 費	130,000	71,018	△ 58,982	総 会 費：22,006 研 修 会 費：49,012
地 区 ふ れ あ い 交 流 助 成	130,000	65,000	△ 65,000	4地区開催 旭台団地・旭平2区・旭台区・旭崎1区
在 宅 福 祉 活 動 費	380,000	357,070	△ 22,930	配食サービス【40食／回】：241,993 80歳以上食事会：90,077 在宅介護者記念品：25,000
ふれあいサロン助成	40,000	40,000	0	サロン助成：40,000
ふれあい交流会費	50,000	50,000	0	友二小三世代交流会
研 修 費	110,000	88,000	△ 22,000	大谷平和観音・大谷資料館
支 部 広 報 発 行 費	190,000	190,000	0	3回／年・他（諸経費）
負 担 費	4,000	0	△ 4,000	ボランティア保険
予 備 費	357,454	0	△ 357,454	
合 計	1,746,454	1,116,958	△ 629,496	

平成30年度 収支

収入合計：1,704,610円 － 支出合計：1,116,958円 ＝ 差引残高：587,652円

収入・支出差し引き残高 587,652円は、次年度へ繰越する

観音様と花を訪ねて ふれあいサロン交流会

笠間市社会福祉協議会と同大旭支部では、3月20日に「ふれあいサロン交流会」を行いました。

「ふれあいサロンなごみ」の大旭支部女性部（にじの会）を母体に、食事作り・配膳・後片付けなどの、運営を支え活動しております。

今回は、サロン開設1年目を節目として、サロン会員と女性部（にじの会）との、合同交流会を開催しました。

全参加者は32人で、旭崎1区新農村集落センターと旭台団地の集合場所から、バスに乗車して、雨引観音（桜川市）と茨城県フラワーパーク（石岡市）を訪ねました。

目的地に向かう車内で、小野武大旭支部長と渡辺米子女性部長（にじの会会長）から、「ふれあいサロンなごみが開設し、1年が経過しました。おおぜいの会員の参加とサロンを支えるスタッフの皆さんのご協力で、理想的な居場所

づくりが定着し運営できています。今日はスタッフの皆さんともども、春の1日をお楽しみください」と主催者のあいさつがありました。

雨引観音は、安産や子育ての観音として有名な古刹であり、祈願に訪れた参加者も多く、ご利益に預かったお礼参りをしている方もたくさんおりました。

フラワーパークでは周遊バスを利用して、河津桜と展望台の眺望や温室で育てられた大輪のダリヤの花々などに、心が和みました。

園内のレストランで昼食のうちに、帰途につきました。

参加者からは「普段はふれあいの機会の少ない方々と交流ができて良かった」などの、感想が話されていました。



雨引観音山門で

元気な笑顔に迎えられる 手づくり弁当配食

女性部にじの会（渡辺米子会長）では、4月から翌年3月までの1年間、毎月第1・第3火曜日に、高齢者のひとり暮らしの家庭に手作り弁当を配食しているとのことです。6月4日（火）笠間市地域福祉センターともべの栄養指導室（調理室）を拠点に行われていた、にじの会の配食活動取材しました。

調理室では、にじの会の皆さんの明るく元気な声とおいしそうな匂いが漂ってききました。

午前11時には弁当が出来上がり、2人1組でそれぞれの担当地域に向かいました。

私の同乗した車の班は、5軒の家庭を担当し、狭い道路も見事なハンドルさばきでした。

最初の利用者さん宅に何うと、玄関のドアが開き元気で明るい表情で出迎えてくれました。今野スエさんは、手作りの温かい弁当を手渡しなが

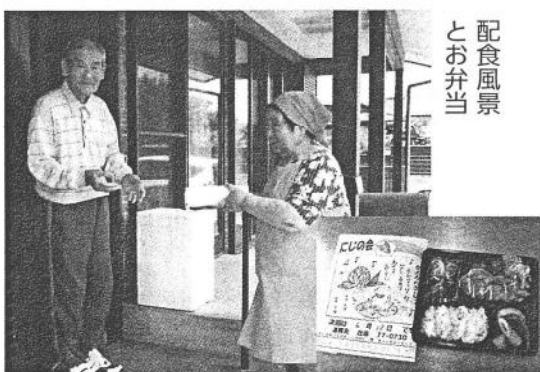
ら「にじの会です。配食に来ました。お元気でしたか」と言葉をかけました。利用者さんも笑顔で答えてくれました。

配食を終えて無事に帰着したのは、ちょうど正午になっていました。

その後、にじの会では今日の反省会を開き、食材・調理法・盛り付け、利用者さんの健康等について意見を交換し、次回の活動につなげていくとの事でした。

今回の『おおあさひ支部報』の取材に際し、協力していただいた皆様方に心からお礼を申しあげます。

配食風景
とお弁当



◆女性部（にじの会）総会

3月26日旭崎新農村集落センターで、女性部総会（渡辺米子部長）が開催され審議の結果、本年度の活動方針・予算案が承認されました。

◆防災訓練で貴重な体験

6月9日旭台団地4区ふれあいセンターで、自主防災会（青木清会長）総合防災訓練が開催され、32人の地域住人が参加しました。

訓練は日本赤十字社職員の指導で、健康生活支援講習・救急法・簡易の担架作りと搬送など、災害救護訓練を行い貴重な体験ができました。

昼食には、ハイゼックス（熱に強い袋でご飯が炊ける）を使ったカレーライスを食べ、散会しました。

◆新しい広報委員の紹介

歴史ある支部報「おおあさひ」の広報委員となりました、寺門常康です。

微力ですが、地域の皆様の協力をいただきながら、情報を発信していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。